

平成29年(2017)12月8日

## 『徹底追究！豊臣の城からみた佐和山城』のご案内

1. 研究集会名称 織豊期城郭研究会 2018 特別研究集会 in 佐和山城
2. 主催 佐和山城研究会・織豊期城郭研究会
3. 開催場所 滋賀県彦根市鳥居本地区公民館
4. 開催日程 平成30年(2018)3月3日(土)・4日(日)

【開催日時】 3月3日(土) 13時30分～16時35分(12時30分開場・受付開始)  
3月4日(日) 9時30分～16時40分(9時開場・受付)

【開催場所】 彦根市鳥居本地区公民館  
(滋賀県彦根市鳥居本町 1491-6 ☎0749-26-1922)  
※近江鉄道本線鳥居本駅下、南東方向へ徒歩約10分  
近江鉄道は本数が少ないのでご注意ください。

JR東海道本線彦根駅から徒歩だと40分くらいかかります。

【参加費】 参加費は無料。ただし、資料代として2,000～3,000円をいただく予定です。

【開催テーマ】 徹底追究！豊臣の城からみた佐和山城

【開催日程】 ※報告タイトルや順番などは変更になる場合もあります。

### 3月3日(土)

- 12:30～ 開場・受付開始  
13:30～13:40 開催挨拶 田附清子(佐和山城研究会代表)  
13:40～13:45 趣旨説明(織豊期城郭研究会事務局)  
第1部 (佐和山城の研究：各発表50分)  
13:45～14:35 「佐和山城と城下町の構造—大手を考える—」  
中井 均 氏(織豊期城郭研究会代表)  
14:35～15:25 「佐和山城下町の復元—絵図と古文書から探る—」  
太田 浩司 氏(長浜城歴史博物館前館長)  
15:25～15:40 <休憩>  
15:40～16:30 「豊臣期佐和山城の形成過程」  
下高 大輔 氏(織豊期城郭研究会)  
16:30～16:35 事務連絡(織豊期城郭研究会事務局)

### 3月4日(日)

- 9:00～ 開場(受付)  
9:30～9:35 事務連絡(織豊期城郭研究会事務局)  
第2部 (豊臣の城の調査・研究：各発表40分)  
9:35～10:15 「豊臣期大坂城に関する調査・研究の現状と課題」  
市川 創 氏(大阪府教育庁)  
10:15～10:55 「郡山城天守台からみえる豊臣期の築城の様相」  
十文字 健 氏(大和郡山市教育委員会)  
10:55～11:35 「東海道の拠点城郭 水口岡山城」  
小谷 徳彦 氏(甲賀市教育委員会)  
11:35～12:15 「表面波探査による聚楽第の復元研究」  
古川 匠 氏(京都府教育庁)  
12:15～13:15 <昼食・休憩>  
13:15～13:55 「宇喜多秀家の備前岡山城」  
乗岡 実 氏(岡山市教育委員会)

13:55～14:35 「近年の伏見城跡調査成果について」

奥井 智子 氏（京都市文化市民局文化財保護課）

14:35～14:45 〈休憩〉

第3部（シンポジウム：90分）

14:45～16:15 シンポジウム 『徹底追究！豊臣の城からみた佐和山城』

16:15～16:30 閉会挨拶および事務連絡（事務局）

5. 申込不要、先着 120 名まで会場入場可

- ・当日に来場者 120 名を超えた場合は、会場の広さの関係から入場をお断りすることがありますのであらかじめご了承の上、ご来場ください。

6. その他注意事項

※研究集会中の飲食は禁止です。

※事務局による弁当手配等はいりませんので各自でお願いします。近くに昼食がとれる飲食店やコンビニ、自動販売機などは全くありませんので、持参することを推奨します。

※研究集会の内容につきましては、専門的である旨もあらかじめご了承くださいたく存じます。

※上記の注意事項等を十分にご確認いただき、ご賛同の上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。近年、研究会運営上の事務関連で意味不明のクレームが複数寄せられており、円滑な会運営に支障をきたしております。ご参加いただく皆さまにおかれましては、有志による民間研究会運営の主旨をご理解いただきますようお願いいたします。本研究会は普及・啓発活動を主目的としているのではなく、研究活動を主目的としているということをご理解ください。

※不明な点などお問い合わせは、専用メールアドレス<shokuhoujoken@gmail.com>まで送信下さい。返信まで二・三日かかることもあります。

## 徹底追究！豊臣の城からみた佐和山城

佐和山城は全国的に有名な城であることは周知の事実と言えます。しかし、城跡の調査・研究史を紐解いた時、他の有名な城跡と比べるとそれほど多くの蓄積があるとは言い難い現実があります。

こうした中、2000年代始めに佐和山城跡の地元有志で結成された佐和山城研究会（代表 田附清子）は、独自の調査・研究によって、これまで知られていなかった石垣遺構や瓦片などを発見するに至り、豊臣時代の佐和山城を語る上での考古資料群を発表しています。この動きは、佐和山城跡の調査・研究をする上では転機となったと言っても過言ではないでしょう。

一方、織豊期城郭研究会（代表 中井均）は90年代を中心に活動した後、休会を経て、2011年より活動を再開し、遺物である瓦、遺構である石垣や礎石建物などに注目して、年一度の研究集会を開催しております。

今回、佐和山城研究会からの依頼により、佐和山城跡の豊臣時代を匂わす遺構・遺物群を学術的観点から歴史的な位置付けを行い、佐和山城跡の歴史的な重要性を高めつつ、保護のために広く周知するためのシンポジウムを企画しました。

1日目は、佐和山城跡について言及している方にその内容を発表いただき、現在目にする事ができる城跡遺構の年代観を把握します。

2日目は、佐和山城跡の遺構群が豊臣時代を中心に形成されたことを受けて、豊臣政権下で築城された城跡の蓄積された調査・研究成果を一堂に会して発表いただきます。これらをもって、『徹底追究！豊臣の城からみた佐和山城』と題した討論を行い、佐和山城跡の年代観、豊臣政権下の佐和山城の位置付け、城跡の重要性と保護について、徹底追究してみたいと思います。

平成29年12月8日